

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	ふたみシーサイド公園管理運営事業		会計名称	一般会計		担当課	経済雇用戦略課		
			予算科目	7 款 1 項 5 目	事業番号	3320	所属長名	大谷基文	
事業評価の有無	☒ 評価対象事業 ☐ 評価対象外事業（事業の概要・結果のみ）					担当責任者名	伊予岡一幸		
法令根拠等	伊予市ふたみシーサイド公園条例					実施期間	【開始】	平成 17 年度	
総合計画での位置付け	産業振興都市の創造						【終了】	平成	年度(予定)
	賑わいのある観光の振興								■ 設定なし
総合計画における本事業の役割	地域資源を活かした観光づくり								
事業の対象	市民等			事業の目的	伊予市内の観光振興の重要拠点として、市内観光情報の提供や特産品等の展示販売を行い、年間を通じてイベントの開催や情報発信を行う。				
事業の内容(整備内容)	指定管理制度に基づき、管理運営及び施設の整備を図る。			昨年度の課題に対する具体的な改善策	年間を通じたイベント開催や情報発信に努める。				

事業活動の内容・成果（D0）

事業費及び財源内訳（千円）							事業活動の実績（活動指標）						
項目		前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	28 年度実績	29 年度予定	9月末の実績	29 年度実績
直接事業費		11,060	10,993	125	0	0	10,993	観光入り込み客数	千人	483	600	300	489
財源内訳	国庫支出金		0	0	0	0	0						
	県支出金		0	0	0	0	0						
	地方債		0	0	0	0	0						
	その他		0	0	0	0	0						
一般財源		11,060	10,993	125	0	0	10,993						
職員の人工（にんく）数		0.20	0.07				0.07						
1人当たりの人件費単価		8,086	8,017				8,017						
※ 直接事業費＋人件費		12,677	11,554				11,554						
主な実施主体		有限会社 シーサイドふたみ		実施形態（補助金・指定管理料・委託料等の記載欄）		指定管理料、委託料							
向こう5年間の直接事業費の推移 （千円）						30 年度	31 年度	32 年度	33 年度	34 年度	5年間の合計		
						10,974	11,078	11,078	11,078	11,078	55,286		
成果指標	指標	観光入り込み客数				単位	⇒	区分年度	28 年度	29 年度	30 年度	目標 毎 年度	
						千人		目標	600	600	600		
	指標設定の考え方	施設の管理及び整備により施設利用者の増減が考えられる。						実績	483	489			
								指標で表せない効果					

事務事業評価（CHECK）

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 （今年度の途中経過）			自主企画イベント等を実施し集客向上に努めた。						
事業 									

施策を踏まえた判断	二次判定	☐	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒	指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		☐	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。		
		☒	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。 ふたみシーサイド公園における販売部門について、1階広場等でイベントや土日に様々な商品販売を行っている。2階のレストランとの営業時間、メニューなど調整協議が上手く進んでいるのか危惧する。定期的な会社とテナントとの定例会で改選策を協議する。 改修計画においては総合計画、過疎計画の調整をすること。		
		☐	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
		☐	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
		☐	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
		☐	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。		

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容

今後の方向性（ACTION）

の経営最終者判断議	事業の方向性	コメント欄	
	☐	さらに重点化する。	二次判定の内容を踏まえ見直すこと。
	☐	現状のまま継続する。	
	☒	右記の点を見直しの上、継続する。	
	☐	事業の縮小を行う。	
	☐	事業の休止、廃止を行う。	